

(前ページからの続き)

基本目標

市民の主体的な活動を基本として、市民と行政が協働して生涯学習活動を推進していくという考え方をもとに、4つの基本目標を掲げました。

重点施策・重点事業 選定の視点

- ①いつでも、どこでも、だれもが学べる環境づくりを進めます(学ぶ)
- ②さまざまな地域資源や学んだことを活かした学習を推進します(活かす)
- ③自主的に学び、主体的に活動できる市民の学習を支援する仕組みを創造します(創る)
- ④学習をつなぎ、支えあい、豊かな心に基づく地域力を育む学習を推進します(育む)

次の3つの視点に基づき、重点施策・重点事業を選定しました。

①学びを地域に活かす
市民自らが地域の課題解決など、学習の成果を活かして、まちづくりにつなげる施策を展開していくことが重要です。

②人材を活かす
地域の教育力(地域力)の向上を図るためには、人材をいか

に活かしていくかが重要です。

③図書館を活かす
知の循環型社会に向けた体制整備を進める上で、最も重要な役割を果たす社会教育施設の一つであるため、図書館が持つ学習資源を活用していくことが重要です。

施策の目標

施策の目標は前計画を基本とし、具体的なイメージとしてつかみやすい表現としました。

- I 学びをつむぐ(学習機会提供の拡充)
- II 学びをひろげる(生涯学習推進体制の整備)
- III 学びを伝える(学習情報の提供と相談体制の整備)
- IV 学びの環境をつくる(生涯学習関連施設の整備と充実)
- V 学びをつなぐ(人材育成の充実)
- VI 学びを創る(社会参加活動の充実)

推進事業・重点事業

前計画273事業のうち、すでに目標達成・終了した事業等を除く189の事業を推進事業としました。

また、重点施策の中の89の事業を重点事業としました。
問合せ先 生涯学習推進課生涯学習係

親子観劇会を7月2日に秋川キララホールにて開催しました

この事業は、「家庭の日」推進事業の一環として、親子・家族で劇を楽しむ家庭内での共通の話題をつくることにより、明るく楽しい家庭づくりをよりいっそう深めることを目的に実施しています。

今回は、オペラシアターこんにやく座の40周年記念作品「オペラ『ねこのくにのおきやくさま』」。絵本を原作とした、ピアノ生演奏の楽しい日本語オペラで、幼児から大人まで楽しんでいただきました。

当日の来場者は、午前の部607人、午後の部601人でした。



第3回あいさつ標語カルタ大会を7月9日に五日市ファイナンプラザ体育室にて開催しました

この事業は、おとなが手本のあきる野市推進事業として、一般市民から公募して作成した「あいさつ標語カルタ」を使い、毎年実施しています。

今回の参加チームは次のとおりでした。

- 1、小学生低学年の部(小学1年生から2年生で編成)7チーム
 - 2、小学生中学年の部(小学3年生から4年生で編成)14チーム
 - 3、小学生高学年の部(小学5年生から6年生で編成)13チーム
 - 4、おとなと子どもの部(小学生とおとなで編成)10チーム
- ※おとなとは、中学生以上が対象です。
- ※3人で1チームをつくり対戦します。



平成23年度アーティスト インレジデンス事業

アートスタジオ五日市(戸倉300番地)に9月1日から11月30日まで外国人1人と国内から2人の計3人の若手版画家を招き、小学生や地域との文化交流を図りながら版画の創作活動を行うアーティスト インレジデンス事業を実施しています。

今年度で19回目を迎え、アーティストの出身国もこれまでアメリカ、ブラジル、オーストラリア、ポルトガル、インド、イタリア、ブルガリア、ドイツなど16か国に及んでいます。

今年度は、次の方々を招いています。

- 写真右から
- 根岸 一成さん(東京都多摩市在住)
 - Rakesh Baniさん(インド・クルクシュトラ在住)
 - 山成 景子さん(神奈川県相模原市在住)

